

第35定期九州本部大会開催!



8月29日吉塚中小企業振興センターにおいて定期国労九州本部大会を開催しました。前段に平塚会計士より「労働講座」を開催しました。また、大会には中央本部から松川委員長が参加し全国大会での「5年ビジョン」の報告と情勢報告を行いました。

国労九州

復第 97号

福岡市博多駅東
3丁目9番3号
ニココハイヴ 1003
092-483-1515
発責 千々岩隆
編責 水流 彰

委員長挨拶

今大会にご多忙の中ご参加いただいた来賓の皆様そして議員団をはじめ関係者の皆様に九州本部を代表して4点について触れ挨拶としたい。

①組織強化・拡大について
この1年で4名の組織拡大が出来たことに敬意を表したい。しかし退職減少には及ばない状況であり、引き続き各地区本部において最優先課題で運動をお願いしたい。九州本部としても「進化した若い力」の発行等を強化し、国労運動の継承発展のために組織拡大に全力をあげていく。

②安全安定輸送の取り組みについて
今年ダイヤ修正では増便されることはなかったが、駅の委託化や無人化、緑の窓口・旅行事業の縮小、新幹線ホーム要員廃止、施設や電気業務の人減らし合理化が進められた。JR発足33年目を迎えたが、安全輸送を脅かす重大なインシデントや事故が発生している。職場から総点検を行い、グループ会社の

・組織拡大に
全力をあげよう!

・大胆に国労
加入を訴えよう!

・各機関で対
策会議を開催しよう!

・組織拡大の
統一行動を
展開しよう!

問題と合わせて安全安定輸送の確立に向け全力を上げなければならぬ。不通が続いている日田英彦山線では沿線自治体に会社の考え方が出されることが納得できるものではないことは明らか。災害を理由にした廃線などは国会での社長答弁からも許されない。国労として1日も早い復旧に向け運動を強化していく。

③春闘の闘いについて
19春闘は6年連続の「官製春闘」が主導されたが経団連の「労使が基本」との姿勢で労働者が春闘をどう構築するか問われた。賃上げ4%のアップ一百万円の統一要求と夏季手当3カ月、8第要求を掲げて闘った。結果4年連続のベア300円の有額回答、夏季手当2.56カ月、JR貨物では2年連続のベア200円の夕額回答があったが、国労要求からはかけはなれていた。20春闘ではこれまで積み上げてきた議論を継続し運動を強化していかなければならない。

④平和と民主主義を守る闘いについて
9日に第47国鉄原爆死没者慰霊式を浦上駅で

行い、新たに恒久平和と核廃絶に向けて運動を強化することを誓った。参議院選挙では、野党共闘の結果、与党の3分の2を阻止した。続く埼玉県知事選挙でも野党共闘が勝利するなど、市民と野党の共闘の強化こそが、安倍政権打倒と繋がること明らかとなった。九州本部はナショナルセンター・産別をこえて立憲民主主義を守る闘いに奮闘することを表明し挨拶とす。

大雨のため佐賀地区本部組合事務所が浸水!
大会前日からの大雨により佐賀地区本部の組合事務所が20cmほどの浸水被害にあい、書類など一部が水に浸かってしまいました。この大雨の為、大会に参加できない組合員も!被害に對し心からお見舞い申し上げます。